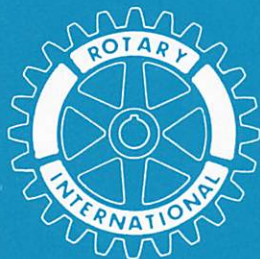


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 池森 由幸  
幹事 足立 一郎  
広報・会報委員長 榎尾 富二

No. 10

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルシー

今日の例会

第1378回 平成23年9月20日(火)  
講演 “尾張徳川家の創出と相応院お亀の方”  
東邦学園大学 高木備太郎様

先週の例会

第1377回 平成23年9月13日(火) 晴  
友愛の日

◆それこそロータリー

◆ビジター紹介 1名

◆出席報告

会員 42(36)名 出席 32名  
出席率 88.89%  
前々回 8/30(修正出席率)100%

◆10月会員誕生日

加藤重雄君(10/1) 高橋智尚君(10/8)  
柵木充明君(10/10) 佐野寛君(10/19)  
大川勝平君(10/30)

## 足立幹事報告

- 1) 本日例会終了後、年次総会を開催致しますので、全会員そのままお残り下さい。
- 2) 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はお残り下さい。

## 池森会長挨拶

昨日、第10回地区RCC懇談会に、足立幹事、加藤さん、川端さん、小林さんと出席して参りました。

RCC認証を受けた5団体から各々15分間、詳細な報告をプレゼンされました。

特に、東山ロータリークラブが認証された、愛知池周囲の環境保全をされている地域住民主体のNPO活動は、規模も大きく、地域に根ざした大変良い企画と感じました。まさに、ロータリーが関与している価値のある活動です。

千種クラブが認証している樹木医の活動も、今後より積極的に関与する事が出来れば良いように思いました。

## 年次総会

第一号議案 2010-11年度事業報告の件  
承認 該当年度にて逐次報告済み  
第二号議案 2010-11年度決算の承認を求める件  
承認 単年度約150万円の赤字決算、未納会費の雑損計上、特別事業積立金払い戻し、繰越金消化にて対応  
第三号議案 2011-12年度事業計画の件  
承認 2011-12年度クラブ計画書記載事項を参照  
第四号議案 2011-12年度予算案の承認を求める件  
承認 当初よりの赤字予算である旨、および決算時に補填予定の特別事業積み立て残額の案内

◆宮尾IM実行委員長より報告

本日、IMのパフレットが出来ましたので、お手元に配布させて頂きました。

## ニコボックス

池森 由幸 今日急に総会を開催させて頂きます  
宜しくお祈りします  
小林 英毅 本日は囲碁会で、楓の間です  
佐久間良治 ホームクラブご無沙汰しました  
油田 弘佑 足立 一郎 萩原喜代子  
林 正路 小杉 啓彰 小山 雅弘  
宮尾 紘司 三好 親 西川 豊長  
大谷 恩 尾関 武弘 鈴木 理之  
竹内 克豊 舎人 経昭 吉田 節美  
吉田 玄

なでしこ JAPAN 五輪出場おめでとう!

高橋 智尚  
なでしこ JAPAN 五輪出場おめでとう 会員誕生日祝い  
笹野 義春 谷口 優  
なでしこ JAPAN 五輪出場おめでとう 結婚記念日祝い  
加藤 重雄 佐野 寛  
会員誕生日祝い  
柵木 充明  
会員誕生日・結婚記念日祝い  
川端 圭 鈴木 聖三 和田 正敏  
ご夫人・ご主人誕生日祝い  
榎尾 富二 喜多 康夫 竹内 眞三  
結婚記念日祝い

合計 104,000 円

# ロータリーの友 9月号より

## ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

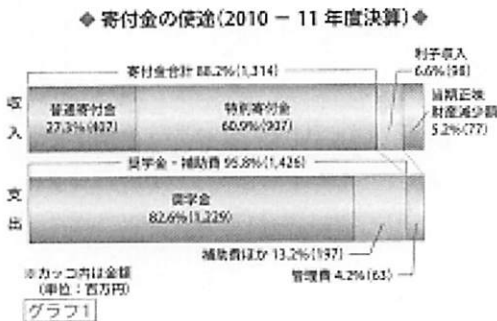


### -寄付金・財政編-

#### ◆皆さまの寄付金はすべて奨学事業に

(財)ロータリー米山記念奨学会の活動は、国際ロータリーが認める「多地区合同奉仕活動」であり、日本全国のロータリアンから毎年いただく寄付金だけで成り立っています。2010-11年度の寄付金収入は13億1,400万円(前年度13億2,700万円)でした。いただいた寄付は奨学金のほか、地区、世話クラブ、学友会への補助費など、奨学事業だけに使われています。事務費や人件費などの管理費支出は、資産の利子収入で賄っています(グラフ1参照)。

#### ◆寄付金の使途(2010-11年度決算)◆

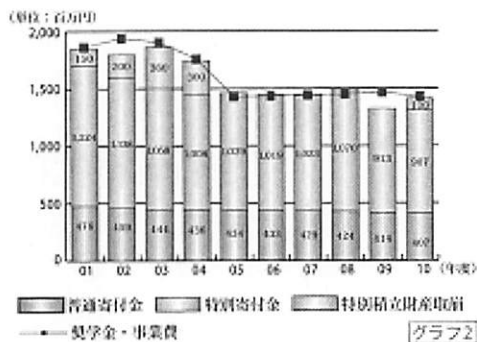


米山記念奨学会では、財政の健全性・透明性確保に十分配慮しています。内部監査に加え公認会計士による外部監査として、公正な立場から毎月全伝票のチェックを受けています。決算報告もホームページ上で公開しています。詳細な計算書類は事業報告書(統計・資料編)に掲載して、毎年9月下旬に全クラブへ送付しています。

#### ◆2012年度は800人、しかしその後は…?

米山奨学生の採用数は年間約800人です。これは日本で民間最大の規模です。800人の奨学支援には14億5,000万円が必要ですが、特にここ2年間の寄付実績はこれを大きく下回り(グラフ2参照)、不足分は「奨学資金特別積立財産」を取り崩して補っています。

#### ◆寄付金と奨学金・事業費推移(01-02~10-11年度)



今年6月3日に開催された理事会では、これまでになく危機感を持った議論が交わされ、来春の採用数は従来通り800人とするものの、取り崩しは今年度で最後とす

ることとなり、この事業規模を維持するためには一層の寄付増進が必要である、との認識で一致。理事会緊急決議を行って、全地区ガバナーへ更なる支援をお願いしました。

2010年度の寄付額は前年度から1,300万円減少しましたが、実は、1人あたりの平均寄付額は1万4,600円と、前年度(1万4,475円)をわずかながら上回り、2万円を超えた地区も5地区ありました。

個人平均寄付額の前年度からの伸び率が最も大きかったのは、第2580地区(東京・沖縄)。この奨学事業の前身を立ち上げた東京ロータリークラブが創立90周年を迎え、1,000万円の寄付があったことが大きく寄与しました。また、第2720地区(大分・熊本)は前年度比15%

増。当時の同地区米山記念奨学委員長・東保房雄氏は、「地区内クラブの会長や理事に対し、普通寄付金1,000円アップを呼びかけた。必然的にクラブ理事会で米山の話題が出され、米山を再認識する契機となったのでは」と、分析しています。世話クラブの数が少ない同地区では、奨学生の出張卓話にも力を入れたところ、クラブの奨学生に対する理解促進だけでなく、同行したカウンセラーと奨学生との距離を縮める効果があったそうです。

#### ◆すべての寄付金に税制優遇が受けられます

当会への寄付金には、「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類があります。いずれも使い道は同じです。

■普通寄付金:各クラブが決定した金額×会員数分を日本の全クラブから納入いただいているもので、安定財源として必要です。2010年度平均:4,525円

■特別寄付金:個人・法人・クラブからの任意の寄付金で、金額にきまりはありません。一定の金額に達するごとに表彰制度があります。2010年度平均:1万75円

当会は「特定公益増進法人」に認定されているため、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。例えば、総所得金額1,000万円の人が個人で10万円の特別寄付をした場合、所得税の負担が約3万2,000円少なくなります。普通寄付金についても、クラブ事務局を通じて会員氏名を電子ファイルでご提供いただければ、申告用領収証を発行いたします。これらの領収証は合算して使うことができ、年間2,000円を超えた分から寄付金控除制度を利用できます。

#### ◆この事業の歴史をつなぐために

戦後、日本のロータリーが国際ロータリーに復帰してわずか3年後の1952年に、米山記念奨学事業は始まりました。まだそれほど豊かではなかった当時、世界の国々に真の日本を理解してほしい、ロータリーの心を伝えて世界の平和の礎となる人材を育てたいと、ロータリアンたちは大変な労力を費やして、タイから第1号の奨学生を迎え入れました。それから50年、巣立った奨学生は1万5,000人を超えました。

「この事業をアメリカのフルブライト制度のように大規模なものにし、米山翁の名において国際親善に大きなサービスをしたい」。この事業の創始者たちが込めた思いは今、どのように結実しているのでしょうか。

10月号は米山月間特集、11月号からは、ロータリアンと奨学生の中に育まれた「絆」をテーマに、米山記念奨学事業の意義と成果をお伝えするシリーズを掲載していきます。